

東北地方交通審議会 交通部会 検討課題(案)

検討課題	検討事項	背景・視点
国内幹線ネットワークの整備	東北新幹線青森延伸に合わせた基盤整備	工事進捗率：予算ベース 35%、用地買収ベース 83% 東北新幹線八戸～青森間開業を見据えた青森以遠(函館、弘前等)へのアクセス改善
	航空ネットワークによる活性化	利用者数は横ばい(空港間では較差が拡大) 仙台空港アクセス鉄道の整備による広域基盤の充実(例：空港～仙台～[仙山線]～山形) 乗合タクシー等の整備によるアクセスの改善
	高速バスネットワークによる活性化	路線数は漸増、輸送人員は大幅に増加 結節点の改善(駅へ結節となるバスターミナル機能の整備促進等)
都市交通の整備・改善	渋滞対策	旅客輸送の機関別分担率は、自家用車が87%と高率 都市鉄道の機能強化、地下鉄の着実な整備 TDM政策の推進によるバスの定時性の確保等
	結節点の改善	中継結節点としての「えき」機能の強化(鉄道駅への高速バス、地域内バスの乗り入れ、鉄道とバスダイヤ接続の改善等) P&R、K&R等の整備 フィーダーバスの整備
	新サービス等による公共交通の活性化	100円パッ区、仙台カード、八戸カードの他、新たな利用者利便の向上策による活性化 ITの活用による運行効率の改善
地域交通の維持整備	地域の足の確保 地方鉄道の維持活性化 地方バスの維持活性化 公共交通空白地帯における代替輸送の確保	マイカー利用率の増加、少子化の影響による公共交通需要の減衰 ダイヤ設定の適正化による利用者利便の向上 NPO等によるボランティア輸送の展開等住民参加型輸送の促進 ダイヤモンド型バス、ダイヤモンド型乗合タクシー等の普及促進 離島生活航路の維持・活性化
その他	バリアフリー化の推進	急速に高齢化が進展 バリアフリー化の目標となる旅客施設(5000人/日以上)は、管内に駅で71カ所、バスターミナルで1カ所 駅、バスターミナル、旅客船ターミナルでのバリアフリー化の推進
	環境に優しい交通体系の整備	運輸部門のCO ₂ 排出量が増大 CO ₂ 排出量が少ない交通機関(鉄道等)への誘導、低公害車の普及促進
	物流体系の整備	モーダルシフトの促進、静脈物流、共同集配